

SCITEC®

〈MP3エンコード付 CD・レコードプレーヤー〉
オールインワン デジタルジュークボックス

取扱説明書

サイテック

大阪市淀川区西中島5丁目6-13 新大阪御幸ビル6F
<http://www.scitec.jp>



TCU-311D

USB

MP3 REC PLAY

ENCODE

TURNABLE

COMPACT disc DIGITAL AUDIO


目次


安全上のご注意	2
警告	2
注意	3
使用上のお願い	4, 5
リモコン・本体各部の名称	5, 6
電源の入れ方	6
聴くことができるもの	7
録音できる組み合わせ	7
ラジオを聴く	7
CDを再生する	8
USBメモリーなどに保存されたMP3形式、WMA形式の曲を再生する	10
CDやレコードをMP3ファイルに録音する	11, 12
レコードを再生する	12
仕様	13
レコード針（カートリッジ）の交換方法	13
サポートセンターへのご連絡	14


安全上のご注意


必ずお守りください。


- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに表示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「損害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。




 **注意** この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 **禁止** この絵表示は、してはいけないこと、を示します。






 **指示** この絵表示は、必ず実行していただく、「強制」内容です。

警告


ご使用について

- | | |
|---|--|
| ● 修理、改造、分解をしない。感電の原因となります。また、保証の対象外となります。 |  指示 |
| ● 機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない。ショート、発熱による火災や感電の原因となります。 |  指示 |
| ● 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かない。特にお子様にはご注意ください。 |  禁止 |

電源コードについて

- | | |
|--|--|
| ● 電源コード、プラグを破損、傷つけるようなことはしない。 |  指示 |
| ● 傷つけたり、延長及び加工したり、ねじったり、重いものをのせたり、束ねたりしない。火災、感電の原因となります。 | |
| ● コンセントや配線基部の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない。たこ足配線で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 |  指示 |
| ● 電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを取り除くこと。プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。 |  指示 |
| ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電の原因となります。 |  指示 |
| ● 電源プラグは根元まで確実に差し込むこと。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。 |  指示 |

雷について

- | | |
|--|--|
| ● 雷が鳴り出したら、アンテナ線、機器や電源プラグに触れないこと。感電の恐れがあります。 |  禁止 |
|--|--|

もし異常が起これたら	
● 煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。販売店にご相談ください。	● 指示
● 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。販売店にご相談ください。	● 指示
● 機器内部に金属や水、異物がはいったら、直ぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。販売店に点検をご依頼ください。	● 指示
設置される時	
● 風呂やシャワー室、屋外など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと。火災、感電の原因となります。	⊘ 禁止
● すべてのパーツを取り出し、保護梱包材を取り外します。 ● 電圧を確認し、その他のすべての接続が完了してから、製品を電源に接続してください。 ● 通気穴には何も被せないでください。また、製品の周囲に数センチのスペースができるようにし、通気をよくしてください。	⚠ 注意
● 異常に湿度が高くなるところに置かないこと。直射日光のあたるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。	⊘ 禁止
● 不安定な場所や、振動のある場所に置かないこと。本機が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。	⊘ 禁止
● 上に物を置かないこと 液体のはいったコップ、花瓶、化粧品のびんなどを本体の上に置かないこと。内部に液体が入った場合、火災、感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。	⊘ 禁止
● 湯煙や湯気のアたるところ、湿気やほこりの多いところには置かないこと。電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。	⊘ 禁止
● 風通しの悪い場所に置かないこと 押し入れ、本箱など、風通しの悪い場所におくと、内部湿度が上昇し、火災の原因になることがあります。テーブルクロス、カーテンをかけたり、じゅうたんの上や布団の上に置かないでください。風通しが悪く、火災の原因になることがあります。	⊘ 禁止
● あお向け、横倒し、逆さまにしないでください。	⊘ 禁止

⚠ 注意	
● 移動させる場合は、電源プラグ、外部との接続線を外すこと。電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき、火災、感電の原因になることや、接続線などを外さずに運ぶと本機が転倒し、けがの原因になることがあります。	⊘ 禁止
● 長時間ご使用にならないときや、お手入れのときは電源プラグを抜くこと。通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災の恐れがあります。ディスク保護のため、ディスクも取り出しておいてください。	⚠ 注意
● ディスクに指をいれ、挟まれないよう注意する。指をはさみ、けがの原因になることがあります。特にお子様にはご注意ください。	⚠ 注意

● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。大音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。	⚠ 注意
● ひび割れ、変形又は接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや事故の原因となります。	⊘ 禁止
● 電源を入れる前には、音量を最小にすること。電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となる場合があります。	⊘ 禁止
乾電池について	
リモコンに使用している乾電池は、 ● 指定以外の乾電池は使用しないこと。 ● 極性「+」「-」を間違えて挿入しないこと。 ● 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しないこと。 ● 充電、過熱、分解、ショートしたり、火のなかにいれないこと。 ● 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに置いておかないこと。 ● 被覆のはがれた乾電池は使用しない。 ● 乾電池の代用として、充電式電池は使用しない。 これらを守らないと、液漏れ、破裂などにより、やけど、けがの原因になることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、直ぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、直ぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。	● 指示
データについて	
● 市販の音楽CDなどを著作権者の許諾無しに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁じられています。	⊘ 禁止
● 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しに第三者に配布することはできません。	⊘ 禁止
● 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しで、故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合には法律処罰の対象となります。	⊘ 禁止

使用上のお願い	
当社、及び本製品の製造元・流通元・販売元は、本製品が4ページのような違法行為に利用された場合、一切の責任を負いかねます。	
● 本製品を使用したことによるデータの消失・破損等により、お客様に生じた免失利益・損害(当社が予見し得た、又は予見し得ない場合を含む)、及び第三者からお客様に対しなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切の責任を負いかねます。万が一、本書にミス、遺漏、更新などがある場合、またはプレーヤーに保存したデータや音楽ファイルなどが破損した場合、当社は一切の責任を負いかねます。	

●本機を使用できるのは、日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
(This turntable player is designed for use in Japan only and can not be used in any other country)

●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、布を水で薄めた中性洗剤にひたし、よく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。変色、塗装はげの原因となります。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

〈 結露の発生しやすい状況 〉

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたる所で使用したとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用したとき
- 湯気が立ち込めるなど、湿気の高い部屋で使用したとき

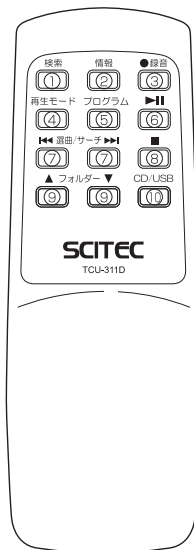
上記のような状況でご使用になりますと、ディスク部品を痛めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源をいれておくと本機があたたまり、2～3時間で水滴がとれます。また、コンセントに接続しておくと、結露(露付き)が生じにくくなります。

★結露がおきそうな時は、本機をすぐにご使用にならないでください。

リモコン

コントロール機能

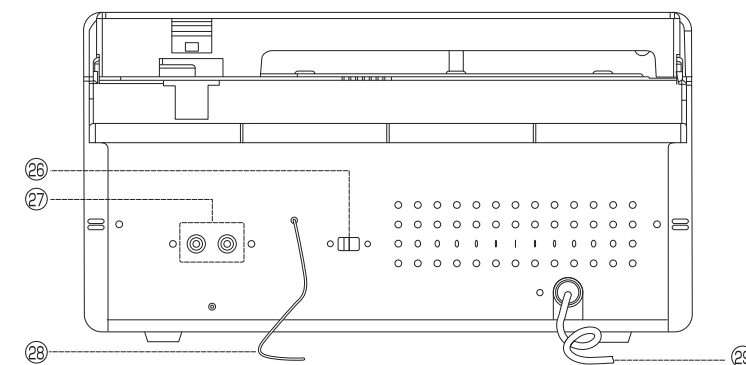
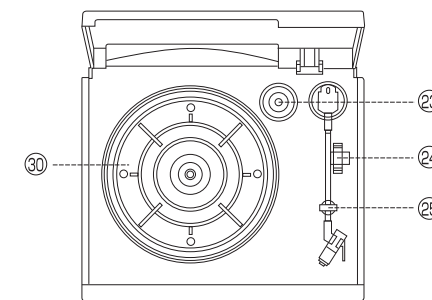
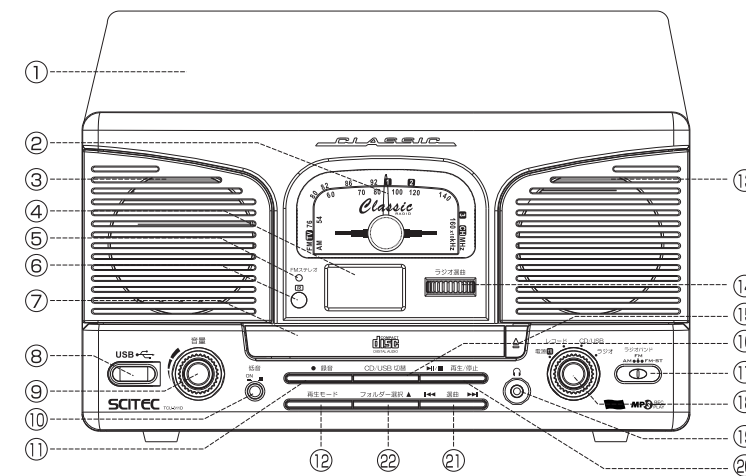
■電池の設定：
リモコンで操作するには、単4電池が2本必要です。



■ボタンの説明

- ① 検索
MP3/WMA モードでファイル・フォルダ名から検索が可能です。
- ② 情報
CD/USB モードで曲のタイトルやアーティスト名 (ID3タグ) を表示します。
- ③ ● 録音
CDモードまたはレコードモードで録音を行います。
- ④ 再生モード
CD/USBモードでリピート・イントロ・ランダムを選択します。
- ⑤ プログラム
CD/USB モードでプログラムを設定します。
- ⑥ ▶|| 再生/一時停止
CD/USBモードで1回押しすと再生が始まります。もう一度押しすと、一時停止します。
- ⑦ 選曲サーチ ▶▶
1回押しすと次のトラックに移動します。長押しすると早送りが始まり、放すと通常再生に戻ります。
(早送りの時、音声は出ません)
選曲サーチ ◀◀
1回押しすと前のトラックに移動します。長押しすると巻き戻しが始まり、放すと通常再生に戻ります。
(巻き戻しの時、音声は出ません)
- ⑧ ■ 停止
CD/USBモードで再生の停止、プログラムの取消を行います。
- ⑨ フォルダ ▲(上)/▼(下)
データCD (MP3/WMA) およびUSBメモリを使用時、フォルダを選択します。
- ⑩ CD/USB (切替)
CD/USBモードでこのボタンを押すとCD機能とUSB機能の切替えを行います。

本体各部の名称



- ① カバー
- ② ラジオ選局針
- ③ 左スピーカー
- ④ 液晶表示
- ⑤ FMステレオ 表示灯
- ⑥ リモコン受信部
- ⑦ CDディスクトレイ
- ⑧ USB接続端子
- ⑨ 音量調整 (ボリューム)
- ⑩ ラウドネス (低音補正) ボタン
- ⑪ 録音ボタン
- ⑫ 再生モード 選択ボタン
(リピート/イントロ/シャッフル)
- ⑬ 右スピーカー
- ⑭ ラジオ選局ダイヤル
- ⑮ CDディスクトレイ 開閉ボタン
- ⑯ CD/USB 再生切替ボタン
- ⑰ AM/FM ラジオバンド選択スイッチ
- ⑱ 電源/機能選択ボタン
- ⑲ ヘッドフォンジャック
- ⑳ 再生/一時停止/停止ボタン (CD/USB)
- ㉑ 選曲 (前へ/次へ) ボタン (CD/USB)
- ㉒ フォルダ選択ボタン (データCD/USB)
- ㉓ ドーナツ盤用アダプター
- ㉔ レコード回転速度 (33/45) 選択ボタン
- ㉕ アーム
- ㉖ レコードターンテーブル自動停止
On/Off 選択ボタン
- ㉗ 音声出力端子
- ㉘ FMラジオ用アンテナ
- ㉙ 電源コード
- ㉚ ターンテーブル

電源の入れ方

1. 電源コード ㉙ をコンセントに接続します。
2. 機能選択ボタン ⑱ を回して「レコード」、「CD/USB」または「ラジオ」を選びます。

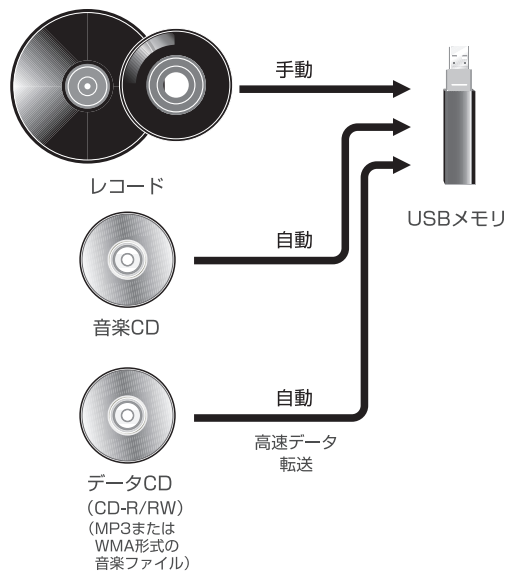
聴くことができるもの



USBに関するお知らせ

- USBマストレージクラス対応のUSBメモリ又は、MP3プレーヤーが使用できます。
- USBマストレージクラス対応品でも、再生出来ない場合があります。
 - 内蔵メモリとメモリ増設スロット (SDカードなど) を兼ね備えた機器。
 - 収録されている音楽ファイルの形式が、MP3/WMA以外の場合。
 - 収録されている音楽ファイルの形式がMP3/WMAであっても、DRM付き (著作権保護されている) ファイルの場合など。
- iPodシリーズ (アップルコンピューター)、ウォークマン (ソニー)、D-Snap (パナソニック) は、USB接続しても再生できません。これは、各社が独自に採用しているフォーマットおよび著作権保護技術による制限です。予めご了承ください。

録音できる組み合わせ



録音についてのお知らせ

- 録音は、直接MP3形式で行われます。(ダイレクトエンコーディング)
- CDを録音する際は、自動的に録音、トラック(曲)の分割が行われます。
- レコードを録音する際は、全て手動となります。(曲の分割が必要な場合も、手動で操作を行います)
- ラジオを録音する事はできません。
- データCD (MP3およびWMA形式のファイルを含むCD-R/RW) から録音する際は、データコピーとなり、再エンコードは行いません。
 - 高速にダビングできます。(ダビング中音声は出力されません) ● 曲名などの情報 (ID3タグ) も引き継がれます。● WMA形式の音楽ファイルは、WMA形式のままダビングされます。

USBに関するお知らせ

- USBマストレージクラス対応のUSBメモリ又は、MP3プレーヤーが使用できます。
- USBマストレージクラス対応品でも、録音出来ない場合があります。
 - 内蔵メモリとメモリ増設スロット (SDカードなど) を兼ね備えた機器など。
- 録音できるMP3プレーヤーでも、MP3プレーヤー本体で再生できない場合があります。
 - 音楽を転送する際、専用のPCソフトウェアを必要とするMP3プレーヤー。(Windows画面上で、ドラッグ&ドロップで音楽ファイルを転送/再生できないもの)
- iPodシリーズ (アップルコンピューター)、ウォークマン (ソニー)、D-Snap (パナソニック) は、USB接続しても、録音できません。サポート対象外となりますので、予めご了承ください。

ラジオを聴く

手動選局

1. 機能選択ボタン⑮を回して、「ラジオ」モードを選びます。(ラジオ選局盤の上部が黄色に点灯します。液晶表示④にライトは点灯しません。)
2. AM/FM ラジオバンド選択スイッチ⑰で、希望のバンド (AM / FM / FMステレオ) を選びます。
3. ラジオ選局ダイヤル⑭を回して、希望の放送局に合わせます。
4. 音量調整 (ボリューム) ⑨を調整して、希望の音量に合わせます。

FM放送、FM ステレオ放送の受信

- AM/FM ラジオバンド選択スイッチ⑰を「FM」に合わせます。放送の受信はモノラルモードで行なわれます。特にステレオ信号が弱い場合は、モノラルで受信してください。
- ステレオ放送を受信する場合は、AM/FMラジオバンド選択スイッチ⑰を「FM-ST」に合わせます。FMステレオ表示灯⑥が点灯し、ステレオ放送を受信中であることがわかります。

ヒント:

- AM: 受信機には、AMラジオ用のバーアンテナが内蔵されています。AM放送の受信状態が悪い場合は、製品を少し回転したり、位置を多少変えたりすることで受信状態がよくなります。
- FM: 受信機には、FMラジオ用の内蔵ワイヤーアンテナが背面に取り付けられています。このワイヤーアンテナを完全にほどこいて伸ばし、受信状態が最善になるように方向を調整してください。

CDを再生する

基本操作

1. 機能選択ボタン⑮を回して、「CD/USB」モードを選びます。(液晶表示④に青いライトが点灯します。ラジオ選局盤にライトは点灯しません。)
2. 「CDディスクトレイ 開閉」ボタン⑮を押して、CDディスクトレイ⑦を開けます。
3. CDの印刷面を上にしてトレイに挿入し、CDディスクトレイを閉じます。
4. 液晶表示④に「CDP READ」が初めに表示され、次にトラック数と演奏合計時間が表示されます。

再生・一時停止/停止

1. 「再生/一時停止/停止」ボタン⑳を押すと、再生が開始し、最初の曲の再生が始まります。
2. 再生を一時停止するには、「再生/一時停止/停止」ボタン⑳を1回押します。液晶表示の再生時間のカウントが停止し、点滅します。もう一度押すと、通常の再生が始まります。
3. 再生中に、「再生/一時停止/停止」ボタン⑳を2秒以上長押しすると、停止します。

選曲モード (選曲(前) / 選曲(後))

1. 再生中または一時停止中に「選曲(次へ)▶▶」ボタン㉑を押すと、次の曲に飛び、トラック番号が表示されます。再生状態または一時停止状態はそのまま維持されます。
2. 再生中または一時停止中に「選曲(前へ)◀◀」ボタン㉒を押すと、現在の曲の最初に戻り、その曲のトラック番号が表示されます。再生状態または一時停止状態はそのまま維持されます。
3. 手順2のあとに「選曲(前へ)◀◀」ボタン㉒をもう一度押すと、1つ前の曲に移動します。再生状態または一時停止状態はそのまま維持されます。

MP3、WMA 形式の CD

1. 有効な音楽ファイルを認識すると、フォルダーの総数と、総曲数が表示されます。
2. 「フォルダー選択」ボタン㉓を押すと、フォルダ単位でスキップします。(画面には、スキップしたフォルダに含まれる先頭の曲<曲番号>が表示されます。)

例) フォルダが3個、各フォルダに含まれるファイルが2曲の場合。



	液晶表示
認識後の表示	03 - 6 (総フォルダー数 - 総ファイル数)
フォルダーボタンを1回押した時の表示	01 (1曲目が選択されている)
フォルダーボタンを押してスキップした時の表示	03 (3曲目が選択されている)
さらにフォルダーボタンを押してスキップした時の表示	05 (5曲目が選択されている)

3. 目的のファイル(曲)を選んだら、「再生/一時停止/停止 (CD/USB)」ボタン⑳を押すと、再生が開始します。

【ID3 (ファイル(曲)・アルバムタイトル) 機能 (リモコン操作)】

1. MP3形式またはWMA形式のCDの再生中にリモコンの「情報」ボタン㉔を押すと、曲名が表示されます。もう一度「情報」ボタン㉔を押すと、ファイル(曲)番号表示に戻ります。

【ファイル名・フォルダー名からの簡易検索機能(リモコン操作)】

再生停止時に、CD内の曲名やフォルダー名でファイル(曲)を検索することができます。

1. リモコンの「検索」ボタン①を一度押したあと、リモコンの「選曲/サーチ」ボタン⑦を押すと、アルファベット順に曲名が1曲ずつ液晶表示に表示されます。「再生/一時停止/停止(CD/USB)」ボタン⑩を押すと、選んだファイル(曲)が再生されます。
2. リモコンの「検索」ボタン①をもう一度押すと、フォルダー名が表示されます。リモコンの「選曲/サーチ」ボタン⑦を押して、目的のフォルダーを選びます。「再生/一時停止/停止(CD/USB)」ボタン⑩を押すと、選んだフォルダー内のすべてのファイル(曲)が再生されます。

注意 ファイル(曲)名での検索は、以下の制約があります。

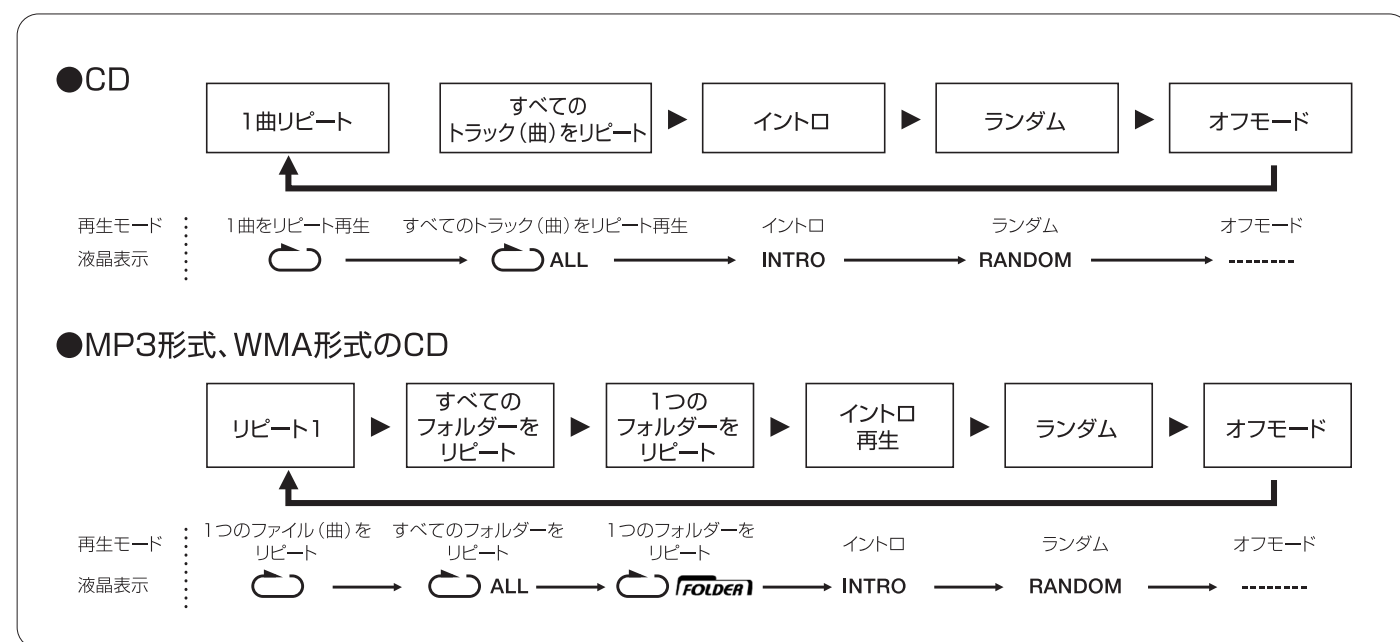
- 検索の対象は、ファイル(曲)名の先頭文字(アルファベット又は数字)となります。
(日本語ファイル(曲)名、各ファイル(曲)のID3タグ情報は、検索の対象となりません。)
- ファイル(曲)名の先頭が数字になっている場合、数字で検索されます。(アルファベットで検索できません)
- 検索で表示されるのは、各アルファベットおよび数字につき一曲です。
- 検対象となるアルファベット又は数字に該当するファイルが存在しない場合、「NOFILE」(ファイル無し)が表示されます。

【お知らせ】【MP3形式およびWMAの再生対応ビットレート】

- MP3：32kbps～256kbps、WMA：32kbps～196kbps
- MP3/WMAを記録した記録CDは、CDの品質や記録状態によって正常に再生できない場合があります。また、通常の再生CDに比べて、読み込みに時間がかかる場合があります。

再生(リピート/イントロ/ランダム)モード

再生前、または再生中に再生モード選択ボタン(リピート/イントロ/ランダム)⑩を押すと、1つのトラック(曲)、1つのフォルダー(MP3の場合のみ)、またはすべてのトラック(曲)を、以下に示すように、異なるモードで再生できます。



- リピート再生：希望のトラック(曲)やフォルダーを繰り返し聞くことができます。
- イントロ再生：CDの各トラック(曲)の冒頭部分(10秒)を聞くことができるので、希望の曲を探すことができます。
- ランダム再生：すべてのトラック(曲)またはフォルダーを、無作為な順番で聞くことができます。

CDのプログラム設定(リモコン操作)

CDのトラックをお好みの順番で再生することができます。プログラムは最大32トラック(曲)(MP3ファイル、WMAファイルの場合は28ファイル(曲))まで可能です。CDが停止していることを確認してから、順番を設定してください。

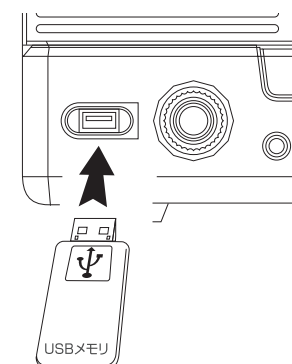
1. 機能選択ボタン⑩をCD/USBモードにセットして、CDの再生を停止します。
2. リモコンの「プログラム」ボタン⑤を押すと、液晶表示④にPROGと表示され、プログラム番号と設定対象のトラック(曲)の番号が表示されます。
3. 選曲ボタン▶▶(次へ)②または選曲ボタン◀◀(前へ)②を押して、目的のトラック(曲)を選びます。
4. リモコンの「プログラム」ボタン⑤を押して、そのトラック(曲)をメモリーに記憶します。
5. 必要に応じて手順3、4を繰り返し、ほかのトラック(曲)をメモリーに記憶します。
6. 希望のトラック(曲)をすべて設定して、「再生/一時停止/停止」ボタン⑩を押すと、設定した順番でCDが再生されます。
7. プログラムファイルを無効にするには、リモコンの「停止」ボタン⑧を押し、再生を停止し、再度リモコンの「停止」ボタン⑧を押します。液晶表示④の「PROG」の表示が消えます。

USBメモリーなどに保存されたMP3形式、WMA形式の曲を再生する

接続

本製品では、USB接続ポートを持つ記憶メディアに保存されたMP3形式、WMA形式のファイルを復号して再生することができます。

1. 機能選択ボタン⑩をCD/USBモードにセットし、CD/USB再生切替ボタン⑩を押して「USB」モードを選びます。
2. USBのプラグを、方向に注意してまっすぐ差し込んでください。
 - 方向が正しいことを確認してから接続してください。製品や記憶メディアが損傷することがあります。
3. 接続が完了すると、自動的に記憶メディアの読み込みが始まり、読み込まれたMP3ファイルまたはWMAファイルの総数とフォルダーの総数が液晶表示④に表示されます。
4. P.8のMP3形式のCDの再生手順と同じ手順を行いません。



- 注意**
- USBマストレージクラス対応のUSBメモリー又は、MP3プレーヤーが使用できます。
 - USBマストレージクラス対応品でも、再生出来ない場合があります。
 - 内蔵メモリとメモリ増設スロット(SDカードなど)を兼ね備えた機器。
 - 収録されている音楽ファイルの形式が、MP3/WMA以外の場合。
 - 収録されている音楽ファイルの形式がMP3/WMAであっても、DRM付き(著作権保護されている)ファイルの場合など。
 - iPodシリーズ(アップルコンピュータ)、ウォークマン(ソニー)、D-Snap(パナソニック)は、USB接続しても再生できません。これは、各社が独自に採用しているフォーマットおよび著作権保護技術による制限です。予めご了承ください。
 - 非対応のファイル形式(MP3/WMA以外)を再生すると、スピーカーから異音が出る場合がありますが、これは製品の不良ではありません。該当のファイルを削除してご利用ください。

CDやレコードをMP3ファイルに録音する



本製品では、通常の音楽CDやレコードをMP3形式で、USBポート経由で、USBメモリに録音することができます。

USBに関するお知らせ



- USBマストストレージクラス対応のUSBメモリ又は、MP3プレーヤーが使用できます。
- USBマストストレージクラス対応品でも、録音出来ない場合があります。
 - 内蔵メモリとメモリ増設スロット (SDカードなど) を兼ね備えた機器など。
- 録音できるMP3プレーヤーでも、MP3プレーヤー本体で再生できない場合があります。
 - 音楽を転送する際、専用のPCソフトウェアを必要とするMP3プレーヤー。
(Windows画面上で、ドラッグ&ドロップで音楽ファイルを転送/再生できないもの)
- iPodシリーズ (アップルコンピュータ)、ウォークマン (ソニー)、D-Snap (パナソニック) は、USB接続しても、録音できません。サポート対象外となりますので、予めご了承ください。

A. CDの録音

■ 1曲 (トラック) だけ録音する

1. 録音したいCDのトラック (曲) を通常の方法で再生します。
2. 目的のトラック (曲) の再生中に録音ボタンを押すと、「」と「」が点滅表示され、トラック (曲) の録音が行なわれます。
3. 録音が完了すると、再生が自動的に停止します。

■ CD全体を録音する

1. CDの印刷面を上にしてトレイにセットし、CDディスクトレイを閉じます。
2. CDの読み込みが完了し、液晶表示④にトラック (曲) 数が表示されるのを確認した後、録音ボタンを押します。
3. 「」と「」が点滅表示され、録音が行なわれます。
録音が完了したら、再生が自動的に停止します。



- 注意**
- 録音を途中で中止すると、その曲は録音されません。(USBメディアに保存されません)
 - 録音速度は、CDのトラック (曲) の実際の再生時間と同じです。
 - 「オーディオ」フォルダーが作成され、録音済みのトラック (曲) がそのフォルダーに保存されます。
 - 記録形式は、MP3 のビットレート (128kbps、サンプリングレート: 44.1kHz) に設定されています。
 - 曲名は記録されません。
 - 曲が完全に終了しないと録音されず、USBメディアにも保存されません。
 - 録音を中止する時は、録音ボタン①を押してください。

■ データCD (MP3/WMAファイル) の録音

録音操作の手順は、上記「CDの録音」と同じです。

- 注意**
- データCD (MP3およびWMA形式の音声ファイルを含むCD-R/RW) から録音する際は、データコピーとなり再録音は行いません。
 - 高速にダビングできます。(ダビング中、音声は出力されません)
 - 曲名などの情報 (ID3タグ) も引き継がれます。
 - WMA形式の音楽ファイルは、WMA形式のままダビングされます。

B. レコードの録音

1. 機能選択ボタン⑩を「レコード」モードにセットし、「録音」ボタン①を直接押します。
2. 液晶表示に、「USB」という文字が点滅表示されます。10秒後に「」と「」が点滅表示され、録音が行なわれます。
3. USB に録音したいレコードのトラック (曲) の再生を開始します。
4. 録音が完了したら、「再生/一時停止 (CD/USB)」ボタン②を2~3秒押します。液晶表示の点滅が停止し、レコードモードに戻ります。

C. 録音のビットレート (リモコン操作)

CDやレコードをUSBメディアに録音する際、希望のビットレートを選ぶことができます。

1. 機能選択ボタン⑩をCD/USBにセットして、停止モードを維持します。
2. リモコンの「情報」ボタン②を押すと、液晶表示に初期設定の
3. ビットレート (128kbps) が表示されます。
4. 選曲▶▶ボタン②または 選曲◀◀ボタン②を押して、希望の録音ビットレートを選びます。
リモコンの「情報」ボタン②をもう一度押して、設定を確認します。液晶表示④が「レコード (PHONO)」モードに戻ります。

選択可能なビットレート (kbps)

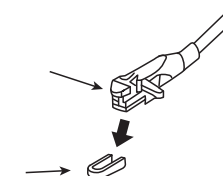
音 質	低	←	→	良
録音可能時間	長い	←	→	短い

USBメモリー (MP3プレーヤー) を取り外す

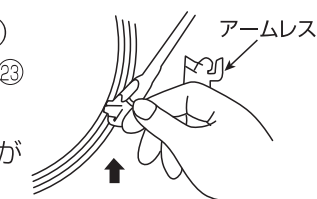
本機からUSBメモリーを取り外す時は、再生・録音中でないことを確認し、電源を切るか、「機能選択」ボタン⑩をレコード、ラジオのいずれかにセットしてください。本機またはUSBメモリーの故障の原因となります。USBポートの場合は、USB接続端子から直接引き抜きます。

レコードを再生する

- 注意**
- レコード針の保護カバーを取り外します。
 - アームがアームレストに固定されていないことを確認してから操作します。
操作後に再度アームを固定してください。
 - 本体カバー①を完全に開けると、レコードを傷つけてしまう可能性があります。



1. 機能選択ボタン⑩で、「レコード」をモード選びます。(液晶表示④に青いライトが点灯します。ラジオ選局盤にライトは点灯しません。)
2. 液晶表示④にPHONOと表示されます。
3. 再生するレコードに応じて、回転速度切替ボタン④にセットしてください。(33/45回転) レコードをターンテーブル⑩にセットします (必要に応じて、ドーナツ盤用アダプター③を使います)。
4. アームレストからアームを持ち上げ、レコード側にゆっくり移動します。ターンテーブルが回転します。
5. アーム⑤をレコードの希望の位置に降ろします。
6. ボリュームを希望のレベルに合わせます。
7. レコードの最後まで進むと、ターンテーブルの回転が自動的に停止します。アーム⑤をレコードから持ち上げ、アームレストに戻してください。(レコードターンテーブル自動停止機能が「ON」の場合)
8. 手動で停止したい場合は、アーム⑤をレコードから持ち上げ、アームレストに戻します。



- 注意**
- 一部のレコードでは、自動停止エリアが製品の設定よりも外側に設定されているため、最後のトラック (曲) が終了する前に停止してしまいます。このような場合は、レコードターンテーブル自動停止On/Off選択ボタン⑥をOffにセットしてください。これで、レコードの最後まで再生されるようになりますが、自動停止機能は働かなくなります (電源ボタンで製品の電源を切るか、レコードターンテーブル自動停止On/Off選択ボタンを「On」に戻して、ターンテーブルの回転を止めてください)。アーム⑤をアームレストに戻してください。

音声出力端子を使った接続

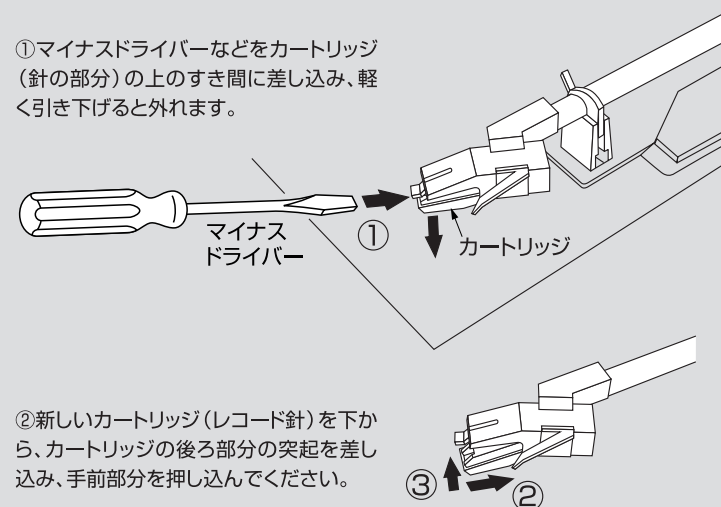
本機の音声を、お手持ちのステレオシステムに接続するには、市販の音声ケーブルを用い、本機の出力端子⑦から、ステレオシステムの入力端子 (AUXなど) に接続します。
(音声ケーブルは付属していません。お手持ちの機器に合わせて、別途、電器店等でお買い求めください)

仕様

電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	18W	
外形寸法(突起物含まず)	311mm(横)×314mm(奥行)×168mm(高さ)	
重量	3.7kg	
USB	インターフェース	USB1.1
	対応最大容量	1GB
	再生ファイル形式	MP3(32-256kbps)/WMA(32-196kbps)
	録音ファイル形式	MP3(32、64、96、128、192、256kbps)
レコード	回転速度	33/45
	再生対応メディア	CD-R/CD-RW
CD	再生フォーマット	音楽CD/データCD(MP3/WMA)
	再生フォーマット	音楽CD/データCD(MP3/WMA)
FMチューナー	76.0MHz---108.1MHz	
AMチューナー	522KHz---1629KHz	
スピーカー音声出力	1.5W×1.5W	
出力端子	前面：φ3.5mm ステレオミニヘッドフォンジャック×1 背面：ステレオライン(RCA)×1系統	
付属品	・リモコン×1 ・テスト用乾電池(単4形×2本) ・取扱説明書×1 ・交換用針×1	

レコード針(カートリッジ)の交換方法

- 注意**
- レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いは十分注意してください。
 - 針先の耐久時間は、約500時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。



- 新しいカートリッジ(レコード針)については下記弊社サポートセンターにてお取り扱いしております。

サイテックサポートセンター
TEL. 048-662-7783
FAX. 048-653-4991

- 受付時間：平日 午前10時～午後6時
(土日、祝祭日及び長期休暇を除きます)
e-mail: support@real-scitec.co.jp

- ご連絡は ●

サイテックサポートセンター

〈本製品に関するお問い合わせ〉

TEL.048-662-7783/FAX.048-653-4991

〈修理品の送付先〉

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-677

受付時間：平日 午前10時～午後6時
(土日、祝祭日及び長期休暇を除きます)

e-mail: support@real-scitec.co.jp

- 本製品には、保証書がついています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入無きものは無効となりますので、必ずご確認ください。
- 本製品ならびに本書は、改善のため予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。
- 本製品の使用・故障によって生じた直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取替えいたします。販売店又はサポートセンターにご連絡ください。